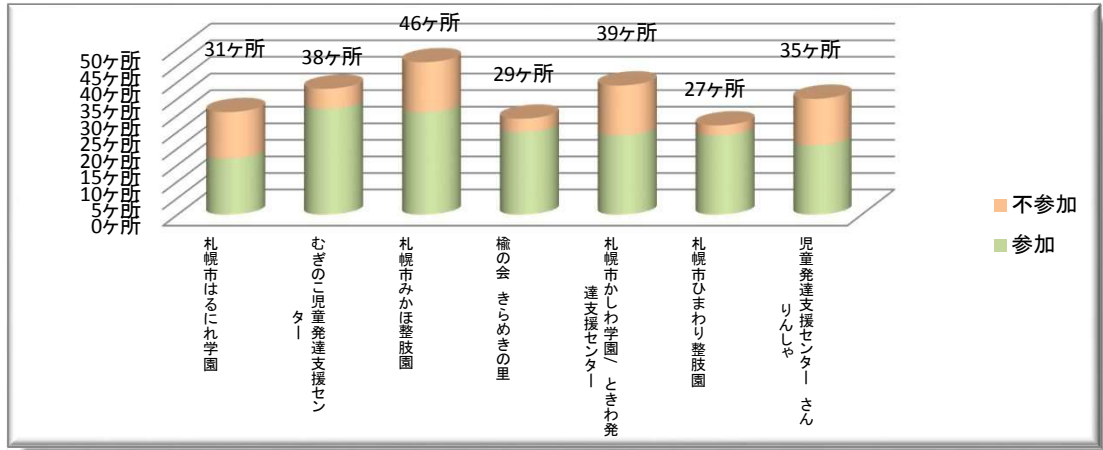


平成26年度第1回児童発達支援センター研修 集計結果

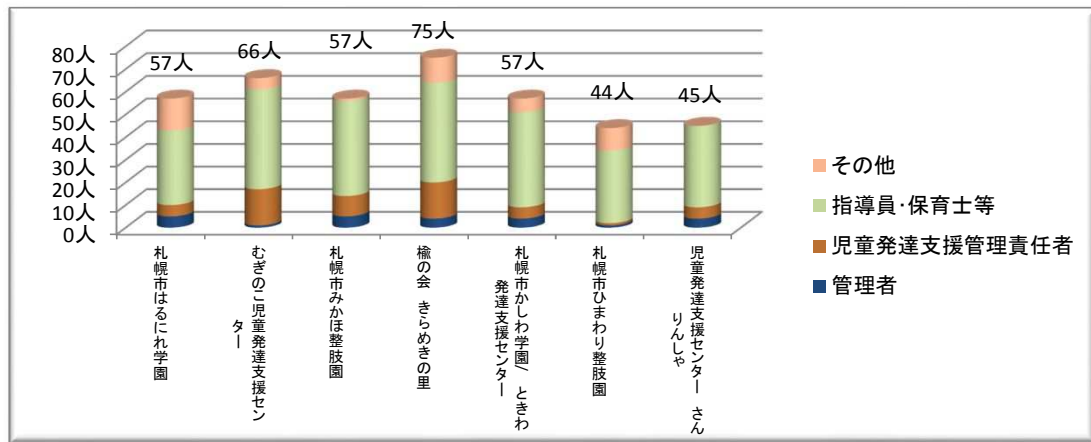
1 障害児通所支援事業所数及び参加者内訳

	対象事業所数	参加事業所数	参加割合	管理者	児童発達支援管理責任者	指導員・保育士等	その他	参加者計
札幌市はるにれ学園	31ヶ所	17ヶ所	55.0%	5人	5人	33人	14人	57人
むぎのこ児童発達支援センター	38ヶ所	32ヶ所	84.2%	1人	16人	44人	5人	66人
札幌市みかほ整肢園	46ヶ所	31ヶ所	67.4%	5人	9人	42人	1人	57人
榆の会 きらめきの里	29ヶ所	25ヶ所	86.2%	4人	16人	44人	11人	75人
札幌市かしわ学園/ときわ発達支援センター	39ヶ所	24ヶ所	61.5%	4人	5人	42人	6人	57人
札幌市ひまわり整肢園	27ヶ所	24ヶ所	88.9%	1人	1人	32人	10人	44人
児童発達支援センター さんりんしゃ	35ヶ所	21ヶ所	60.0%	4人	5人	36人	0人	45人
計	245ヶ所	174ヶ所	—	24人	57人	273人	47人	354人
		平均	71.9%	6.8%	16.1%	77.1%	13.3%	

《参加事業所数》



《参加者数》



2 グループワーク

(1) グループ編成数等

	グループ数	1グループ平均	特記事項 (他事業所のファシリテーターなど)
札幌市はるにれ学園	7	7.1人	
むぎのこ児童発達支援センター	7	9.4人	
札幌市みかほ整肢園	7	8.1人	
榆の会 きらめきの里	11	6.8人	プレイルームにれのかい 放課後等デイサービスど〜なっつ 発達相談きらめきの里
札幌市かしわ学園/ときわ発達支援センター	8	7.1人	児童心療センター職員にファシリテーターを依頼 (ファシリテーターは平均に含まない)。
札幌市ひまわり整肢園	6	7.3人	
児童発達支援センター さんりんしゃ	6	9.3人	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所「ほっと」 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所「児童発達支援事業所SALA」
平均	7.4	7.9人	

(2) 内容

「なかま作り・まなび・やりがい」に係る体験談の共有

3 グループワークで出された主な意見（「なかま作り・まなび・やりがい」）

【なかま作り】

- ・ともに支えあうスタッフの人間関係や環境、チーム力が、より良い子ども・保護者支援を実現すると思う。
- ・複数の事業所を利用する子どもへの事業所間連携や、学校との連携に難しさを感じる。
- ・研修が他事業所との意見交換やコミュニケーションをとる良い機会となった。
- ・運動会や発表会へ参加することが、他事業所・学校と連携できる機会になると思う。
- ・職員同士の連携は、ケースカンファレンスや申し送りの充実などが重要だと思う。

【まなび】

- ・様々な職種で支え合い、共感し合えるという安心感の中、支援される側も安心感を持ち、成長していけるのではないと思う。
- ・この様な研修を通して他の事業所で行っている実践を聞いて学ぶことができる。
- ・職員とのミーティングや機関支援の利用で学ぶことがある。
- ・子どもから学ぶことがある。

【やりがい】

- ・自身の成長や子どもの成長と笑顔、保護者の喜ぶ姿にやりがいを感じる。
- ・色々な方向からアプローチしたことで子どもができるようになる、保護者が喜んでくれる時に喜びを感じる。

【その他】

- ・仲間、まなび、やりがいは、全て繋がっていると思う。
- ・様々な職種の新鮮な意見が聞けて良かった
- ・経験者の話を聞く事ができて良かった（初任者より）。
- ・ライフステージ・ライフデザインは幼児期から…とても参考になった
- ・母親同士の仲間作りや、兄弟への対応など、家族支援の大切さを感じる。

4 研修会に係る参加者の感想・意見

【講義】

- ・障がいへの考え方・制度の変化・子どもの支援体制等、基礎的なことを学べる機会となった。
- ・障がい児支援の入り口から支援開始までの流れを初めて知った（初任者や開設後間もない事業所より）。
- ・5歳児健診についてなど、新たな情報を知ることが出来てよかった。
- ・支援のシステム、役割、発達支援、制度（多子軽減や上限管理など）などについて具体的な事を聞きたかった。
- ・知識がないので具体的な体験談や声掛けの仕方を聞きたかった。
- ・講義が少し早くてメモするのがおいつきませんでした。時間が足りなかった。

【グループワーク】

- ・他職種や他の事業所の取組み、考え方などを聞く事ができ、良い交流が持てた。
- ・他職種の色々な視点からの意見、先輩の話などを聞く事ができ参考になった。
- ・時間がもっとほしい。
- ・グループワークのテーマが難しい。ねらいが見えるテーマにしてほしかった。
- ・グループワークのメンバーの分け方を、職種ごとにするのはどうか？

【今後希望する研修】

- ・テーマに基づいた具体的な支援方法、障がい特性に応じた関わり方、事業所運営・事務、事例検討、保護者対応、感覚統合の日常的な実践方法、スタッフ間のコミュニケーション。
- ・幼稚園、保育園、学校の先生を含めたグループワークの実施。